日時：平成 21 年 11 月 27 日 16 時 00 分より 18：00 まで
場所：川崎医療福祉大学　川﨑祐宣記念講堂 2 階会議室

日本パーソナリティ心理学会
第 18 回理事会・第 94 回常任理事会合同会議

出席者：杉山、首藤、安藤、二宮、坂元、荒川、森、藤田、中村、川野、浮谷、向田、堀毛、渡邊、山崎、小塩、松田英子、松田浩平
事務局長：加藤
大会主催校：寺崎
委任：青柳、菅原ますみ、岡村、尾見、岡田、佐藤、菅原健介
欠席：手島（監事）、繁多（監事）、外島、高比良

Ⅰ　報告事項

1　会員の異動に関して（加藤事務局長）

2　役員選挙結果について（首藤選挙管理委員長）

別紙のとおり、選挙の手続き並びに選挙結果について報告がなされた。

3　各種委員会の事業報告および事業計画

（1）機関誌編集委員会（渡邊委員長）
別紙のとおり、報告された。
任期終了に伴い 7 名の編集委員が退任し、新たに 7 名の編集委員を加えた。詳細について、別紙のとおりである。
（2）経常的研究交流委員会（北村委員長）
別紙のとおり、報告された。
（3）広報委員会（荒川委員長）
別紙のとおり、報告された。
（4）国際交流委員会（小塩委員長）
別紙のとおり、報告された。
（5）大会活性化委員会（川野常任理事）
別紙のとおり、報告された。

受賞候補者（第一次審査）の中に、前回受賞者の名前が挙がっているが、この件について、規定がないため、どのように対処すればいいのか、議案があがった。
次回の継続審議とする。
（6）名簿電子化小委員会（北村常任理事）
名簿を電子化するに当たり、Web 上でできることを国際文献と話し合ってきた。紙媒体での名簿に代わる機能を付けることにした（ダウンロード機能を搭載した）。
（7）機関誌電子版高機能化と紙媒体廃止検討小委員会（中村理事）
機関誌の電子化と高機能化について、これまでの話し合いの内容について報告された。この議論を受け、次期役員で検討することになった。

4　日本心理学諸学会連合に関して（杉山理事長）
年に 2 度、定期的な会議が開かれている。
2 資格 1 法案を断念したことなどが報告された。

5　第 17 回大会報告（坂元大会委員長）
別紙のとおり、第 17 回大会の収支報告がなされた。

6　第 19 回・第 20 回大会開催校に関して（杉山理事長）
次回大会は慶應義塾大学（安藤寿康大会準備委員長）で開催される。
第 20 回大会は、日本感情心理学会と合同大会とし、日程は 8 月の末、京都光華女子大学（荘厳大会準備委員長）で開催したい旨提案され、承認された。

7　その他
なし

Ⅱ　審議事項

1　2008 年度決算に関して（藤田常任理事）
別紙のとおり、繁多監事および手島監事の監査を受けた決算書が提出され、承認された。

2　2009 年度予算に関して（藤田常任理事）
すでに執行されている予算を考慮した予算案とともに、2 通の予算案（暫定予算案と予算案）が提出された。審議の結果、これまで通りの予算案を総会に提案することになった。承認された。

3　その他

（1）第 93 回日本パーソナリティ心理学会議事録（案）について
指摘された点について修正のうえ承認された。

平成 21 年 11 月 28 日
事務局　加藤司

1　会員異動について

平成 21 年 11 月 20 日現在の会員総数は 823 名です。

会員の種別	現在	第 17 回大会会員総会	増減
名誉会員	6	5	1
賛助会員	1	1	0
一般会員	551	549	2
院生会員	261	269	－8
学生会員	4	2	2

会員総数の変化

	現在	第 17 回大会	第 16 回大会	第 15 回大会	第 14 回大会
会員総数	823	826	783	725	720
前年度増減	－3	+43	+58	+5	―

平成 20 年度退会者総数　60 名
うち　平成 18 年度および平成 19 年度会費未納に伴う退会者数：36 名

2009 年 11 月 28 日

日本パーソナリティ心理学会
選挙管理委員会委員長
首 藤　敏 元

日本パーソナリティ心理学会役員選挙結果報告

選挙の結果、以下のとおり、新役員が決定しましたのでご報告します。

記

理事長　浮谷　秀一　（東京富士大学）

理　事	青柳　　肇	（早稲田大学）	岡村　一成	（東京富士大学）
（50 音順）	小塩　真司 ＊	（中部大学）	尾見　康博	（山梨大学）
	川野　健治	（国立精神神経センター）	坂元　　章	（お茶の水女子大学）
	佐藤　達哉	（立命館大学）	菅原　健介	（聖心女子大学）
	菅原　ますみ	（お茶の水女子大学）	手島　茂樹	（東京福祉大学）
	中村　真	（川村学園女子大学）	二宮　克美 ＊	（愛知学院大学）
	藤田　主一 ＊	（日本体育大学）	堀毛　一也 ＊	（岩手大学）
	松田　英子	（江戸川大学）	向田 久美子＊	（駒沢女子短期大学）
	森　津太子	（放送大学）	山崎　晴美 ＊	（日本大学）
	渡邊　芳之 ＊	（帯広畜産大学）		*印・・・常任理事

監　事　岡田　　努　（金沢大学）　松田　浩平　（文京学院大学）
（50 音順）

任　期　第 18 回大会終了時から 2012 年の第 21 回大会時までの 3 年間

［　参　考　］

理事・監事選挙	〆切	2009 年 7 月 15 日（水）	
	開票	2009 年 7 月 25 日（土）	11:00～17:00
理事長・常任理事選挙	〆切	2009 年 8 月 31 日	
	開票	2009 年 9 月 3 日（木）	16:00～18:30
	〃	2009 年 9 月 14 日（月）	17:30～19:30
選挙管理委員	首藤　敏元（委員長）	浮谷　秀一	向田　久美子
	加藤　司	登張　真稲	

＜理事・監事　選挙結果＞

返信	141 通
有効返信	139 通
無効	2 通

（内封筒厳封せず 1 通、選挙人名簿にない名前で投票 1 通）

＜理事長・常任理事　選挙結果＞

有効返信	19 通
棄権	1 通

2009 年 11 月 28 日

機関誌編集委員会　活動報告

機関誌編集委員長
帯広畜産大学　渡邊芳之

１．機関誌「パーソナリティ研究」について

１）機関誌の発行状況

・2008（平成 20）年度（2008 年 4 月～2009 年 3 月）には「パーソナリティ研究」第 17 巻 1 号～3 号を発行しました。第 17 巻の総ページ数は　316 ページでした(第 16 巻は 437 ページ, 第 15 巻は 365 ページ, 第 14 巻は 326 ページ)。

・2009（平成 21）年度はすでに第 18 巻 1 号（73 ページ）を発行し，第 18 巻 2 号が印刷中，3 月までに 3 号の発行を予定しています。

２）投稿状況，審査状況

・2008（平成 20）年度の投稿数は 61 本（原著 23，資料 11，ショートレポート 24，その他 3）でした。うちすでに採択されたものが 27 件，不採択または取り下げとなったものが 23 件，残りは審査中です。採択され掲載された論文の投稿から掲載までの平均所要日数は 267 日（最短は 120 日）でした。

・2009（平成 21）年度は 10 月末までに 37 本（原著 18，資料 5，ショートレポート 14，その他 0）の投稿がありました（昨年度は 10 月末までに 36 本)。10 月末現在で審査中の論文は 46 本です。

２．科研費研究成果公開促進費の採択について

・以前から申請していました科学研究費「研究成果公開促進費」が採択され，平成 21 年度に 90 万円の補助を受けることができました。平成 22 年度分についても申請を行なっています。

３．第 18 期編集委員会について（次ページ）

・任期の終了により 7 名の編集委員が退任されます。長い間ありがとうございました。

・新たに 4 名の編集委員が常任編集委員に就任されます。

・新たに 7 名の先生が編集委員に就任されます。

以上

第１８期（2009 年度）編集委員会名簿および任期（順不同）

委員長（2009 年大会～2012 年大会）
渡邊芳之　帯広畜産大学
副委員長（2009 年大会～2011 年大会）
内藤まゆみ　高崎経済大学
新規１年目編集委員（2009 年大会～2011 年大会）
中山留美子　三重大学
原島雅之　千葉大学
古澤照幸　埼玉学園大学
日向野智子　立正大学
勝谷紀子　日本大学
福岡欣治　川崎医療福祉大学
太幡直也　東洋大学
新規２年目編集委員（2008 年大会～2010 年大会）
川崎直樹　北翔大学
佐藤　徳　富山大学
伊田勝憲　北海道教育大学釧路校
佐々木淳　大阪大学
吉住隆弘　中部大学
森　津太子　放送大学
佐藤淳一　上越教育大学
吉田綾乃　東北福祉大学
市原学　福岡教育大学
井上まり子　椙山女学園大学
安藤玲子　金城学院大学
岡田　涼　名古屋大学
岡田　努　金沢大学
西村洋一　北陸学院大学
再任１年目編集委員（2009 年大会～2011 年大会）
金子一史　名古屋大学
木島伸彦　慶應義塾大学
山口陽弘　群馬大学
再任２年目編集委員（2008 年大会～2010 年大会）
小林知博　神戸女学院大学
前川浩子　金沢学院大学
増田公男　金城学院大学
越智啓太　法政大学
須永範明　山梨英和大学
山崎修道　東京大学医学部附属病院

新規１年目常任編集委員（2009 年大会～2011 年大会）
福島　治　新潟大学
小島弥生　埼玉学園大学
大久保智生　香川大学
小平英志　日本福祉大学
新規２年目常任編集委員（2008 年大会～2010 年大会）
長谷川真里　横浜市立大学
金政祐司　大阪人間科学大学
中村真　川村学園女子大学
大芦治　千葉大学
加藤弘通　静岡大学
再任１年目常任編集委員（2009 年大会～2011 年大会）
サトウタツヤ　立命館大学
永房典之　東京文化短期大学
再任２年目常任編集委員（2008 年大会～2010 年大会）
有光興記　駒澤大学
宮川充司　椙山女学園大学
中野敬子　跡見学園女子大学
小野寺敦子　目白大学
酒井厚　山梨大学
菅原健介　聖心女子大学
高比良美詠子　中部大学

2009 年大会で退任する編集委員
村井潤一郎　文京学院大学
伊藤順子　宮城教育大学
大木桃代　文教大学
小塩真司　中部大学
加藤司　東洋大学
中谷素之　大阪大学
友田貴子　埼玉工業大学

（長い間ありがとうございました。）

2008～2009 年　経常的研究交流委員会活動報告

委員長　北村　英哉

○講演＆シンポジウム
　「人と時代と写真と－人を如何に表現し記述するか」
日時　2009 年 3 月 29 日（日）　１４時－１７時
場所　東洋大学白山キャンパス６号館１階６１０１教室
＜講演＞　　鬼海弘雄（写真家）
＜シンポジスト＞
　向山泰代（京都ノートルダム女子大学）
　岡部大介（慶応義塾大学政策・メディア研究科）
　松本　学（共愛学園前橋国際大学）
企画・司会　伊藤匡（東京大学大学院総合文化研究科）
参加者３２名

○シンポジウム企画
　「パーソナリティを多面的にとらえる」
日時　2009 年 7 月 25 日（土）　14 時～16 時
場所　東北大学川内キャンパス
話題提供者：
　　澤田匡人（宇都宮大学）
　　鈴木公啓（東洋大学）
　　荒木　剛（東北大学）
指定討論者：堀毛一也（岩手大学）
企画・司会　森本幸子（仙台白百合女子大学）
参加者約５０名

◎大会時企画　１．　「認知と感情、そしてパーソナリティ」
司会　　森　津太子（放送大学）
話題提供：　堀内　孝　（岡山大学）
話題提供：　村上　裕樹（名古屋大学）
話題提供：　青林　唯　（千葉大学）
指定討論：　杉森　伸吉（東京学芸大学）

２．「非言語コミュニケーションと個人差、パーソナリティ」
司会　　文野　洋（浜松学院大学）
話題提供：　上出　寛子（大阪大学）
話題提供：　登張　真稲（白百合女子大学）
話題提供：　山本　恭子（神戸学院大学）
指定討論：　大坊　郁夫（大阪大学）

2009 年度委員
北村英哉（東洋大学：委員長）、青林　唯（千葉大学）、文野　洋（東京都立大学）、森本幸子（仙台白百合女子大学）、中川明仁（同志社大学）、森　津太子（放送大学）、薊理津子（聖心女子大学）、佐藤史緒（東洋大学）、（以下、2009 年度から新委員 3 名）谷口淳一（帝塚山大学）、岡田有司（中央大学）、佐野綾子（早稲田大学）

広報委員会

文責：荒川　歩

1）委員構成（担当常任理事：サトウタツヤ(立命館大学・2009 年大会まで)）

大和田智文（関西福祉大学）・山田幸恵（岩手県立大学)・荒川 歩（名古屋大学：委員長＝2009 年大会まで）・家島明彦（島根大学：委員長＝2009 年大会から)・桑村幸恵（愛知学院大学）・奥田雄一郎(共愛学園前橋国際大学)・毛新華（大阪大学）・佐藤恵美（東京富士大学）・木村文香（江戸川大学)・水野邦夫（帝塚山大学)・伊藤君男（東海学園大学)

2）前回大会から本大会までの活動報告

〇メール配信

・メールニュースの発行（13 回）(11 月 12 日現在)

〇ウェブページの更新（学会ページ http://wwwsoc.nii.ac.jp/jspp/　）

・全体リニューアル(11 月 16 日)

・尺度ページをリニューアル

・大会発表賞のページを作成

・会員専用ページ(会員情報修正・会員検索)へのリンク

・会計情報（予算・決算）の掲載

・新シリーズ「パーソナリティ心理学と社会」の作成(10 月～)　1 記事

・インタビューページの追加　3 記事

・若手研究者の研究紹介　4 記事

・書評ページの追加　5 記事

・議事録の公開・更新

〇学会企画等

・ヤングサイコロジストプログラム(11 月 27 日)：23 名参加の予定(11 月 12 日現在)

運営委員：阿部美帆(筑波大学)・佐藤史緒(東洋大学)・結城裕也(東洋大学)・落合萌子(筑波大学)

・大会企画「高校生のためのパーソナリティ心理学」

3）2009 年度後半の活動計画

・オンライン・ミーティング（役割分担、来年度の活動計画作成、継続＆新規の企画検討）

【継続企画】

・メール配信

・「インタビュー」「若手研究者の研究紹介」「図書紹介」「パーソナリティ心理学と社会」に記事を追加

国際交流委員会　活動報告

2009 年 11 月 28 日
委員長　小塩真司

1. 海外学会ニューズレターへの記事投稿

・ Association for Research in Personality （ARP）の web ニューズレター，“P: The Online Newsletter for Personality Science”
（http://www.personality-arp.org/newsletter.htm）に記事を投稿した。

・ Issue 4 （http://www.personality-arp.org/newsletter04/front.html）の“News from Abroad”のコーナー

- “The 17th Annual Meeting of the Japanese Society of Personality Psychology”：2008 年に開催された，日本パーソナリティ心理学会第 17 回大会の報告

2. 国際交流委員会企画　McAdams 先生セミナー

・ A New Big Five: Fundamental Principles for an Integrative Science of Personality
（ニュービッグファイブ：統合的なパーソナリティ科学のための基本原則）

・ 2008 年 11 月 15 日，日本パーソナリティ心理学会第 17 回大会において開催。

3. McAdams 先生への論文依頼

・ セミナーの内容を中心としたレビュー論文の執筆を，McAdams 先生に依頼中。

4. 海外学会の紹介

・ 2009 年７月１６日～１８日に，イリノイ州 Evanston で，Association of Research in Personality (ARP)のカンファレンスが，その後１８日から２２日にかけて同じ場所で，The International Society for the Study of Individual Differences(ISSID)のカンファレンスが開催された。メールニュースを通じて会員に学会開催を知らせた。

・ 今後の関連学会の開催：The 15th European Conference on Personality (ECP15)が，2010 年７月２０日～２４日に，チェコ共和国の Brno で開催される予定。

2009 年度委員（敬称略）
首藤敏元（担当常任理事，埼玉大学）／小塩真司（委員長，中部大学）／黒沢香（東洋大学）／坂元章（お茶の水女子大学）／向田久美子（駒沢女子短期大学）／山形伸二（日本学術振興会特別研究員，慶応大学）

大会活性化委員会報告（2009 年度）

（2009 年 11 月 28 日　委員長・川野健治）

活動報告

当委員会はパーソナリティ心理学会の大会活性化に資することを目指して活動しています。本年度大会では、大会準備委員会と協力して、大会発表賞を運営しました。

（1）　目的：大会における研究発表についての議論を活発にし、大会の活性化（現在の学界における関心の共有と深まり）を目指します。
（2）　審査方法：より多くの審査者の評価を反映するよう、二段階審査としました。
（3）　審査基準：論文審査、口頭発表ともに、総合評価と観点別評価（明瞭性、新規制、技術性、社会的貢献度）によって審査します。
（4）　発表：審査の結果は大会後に集計され、HP 等によって発表されます。
（5）　広報：大会発表賞については、大会通信等によって会員に周知いたしました。

2009 年度委員（敬称略）
川野健治（委員長：国立精神・神経センター）、堀毛一也（副委員長：岩手大学）、大久保智生（香川大学）、水子学（川崎医療福祉大学＊）

＊は、大会準備委員会より参加。一年期限の委員。

日本パーソナリティ心理学会第17回大会　収支決算報告書

平成21年1月30日

収入			支出	
適要		金額	摘要	金額
大会参加費			印刷費(案内状、プログラム・論文集)	936,162
(内訳) 一般会員(予約)	5000×103	515,000	発送費(同上)	179,840
一般会員(当日)	6000×42	252,000	大会HP製作費	189,000
院生・学生会員(予約)	2000×73	146,000	サーバレンタル費	44,730
院生・学生会員(当日)	3000×13	39,000	懇親会費	430,000
非会員　一般(予約)	7000×14	98,000	理事会懇親会費	104,500
非会員　一般(当日)	8000×24	192,000	大会会場費(施設利用料、警備等)	123,520
非会員　院生学部生(予約)	3000×5	15,000	シンポジスト・講師謝金	388,100
非会員　院生学部生(当日)	4000×28	112,000	シンポジスト・講師旅費	53,000
			総会費(弁当、飲み物代)	79,380
発表費　※責任発表者のみ			その他弁当(生協食堂等)	79,000
(内訳) 一般会員	5000×59	295,000	郵送料・手数料	52,486
院生・学生会員	3000×66	198,000	大会運営協力謝礼費	389,000
			大会運営費(文具備品、花代等)	190,782
論文集代				
(内訳) 会員(予約)	3000×59	177,000		
会員(当日)	4000×25	100,000		
非会員(当日)	5000×9	45,000		
機関購入	5000×8	40,000		
懇親会費				
(内訳) 一般会員(予約)	5000×26	130,000		
一般会員(当日)	6000×12	72,000		
院生・学生会員(予約)	3000×13	39,000		
院生・学生会員(当日)	4000×10	40,000		
非会員　一般(当日)	6000×3	18,000		
大会プログラム(当日販売)	1000×12	12,000		
広告費		150,000		
協賛金・寄付		54,500		
大会補助金(学会)		400,000		
理事会懇親会補助金(学会)		50,000		
国際交流委員会(McAdams謝礼分)		50,000		
合計		3,239,500		3,239,500

日本パーソナリティ心理学会第17回大会の収支について、以上のとおりご報告致します。

平成21年1月30日　　大会委員長　坂元 章

上記、第17回大会収支決算書の会計処理は、適正に行われていることを証明致します。

平成21年1月30日　　大会監査　猪股富美子

日本パーソナリティ心理学会2008年度決算書

（自2008年4月1日・至2009年3月31日）

収入の部 費目	決算額		予算額
学会費	4,794,900		4,392,000
一般会員(@7,000)	3,521,000	1)	3,164,000
院生・学生会員(@4,000)	924,000	2)	848,000
過年度等	281,000		300,000
前納	38,900		50,000
賛助会員(@30,000)	30,000	3)	30,000
機関誌売上	993,565		700,000
公開講座参加費など	13,000	4)	20,000
雑収入(著作権使用料、利子など)	8,861		30,000
前年度繰越金	643,876		600,000
基本基金取崩金	0		500,000
合計	6,454,202		6,242,000

支出の部 費目	決算額	予算額
大会補助費(第17回大会)	400,000	400,000
機関誌作成・印刷費	2,199,722	2,500,000
機関誌郵送費	322,650	250,000
機関誌編集委員会活動費	557,764	600,000
広報委員会活動費	212,976	270,000
経常的研究交流委員会活動費	299,643	300,000
国際交流委員会活動費	70,920	100,000
大会活性化委員会活動費	21,160	30,000
事務局運営費	169,496	100,000
交通費	421,000	350,000
通信費(国際文献い印刷社分)	99,000	100,000
事務委託費(国際文献印刷社分)	545,322	550,000
日本心理学諸学会連合会費	37,500	37,500
会員名簿作成費積立金	100,000	100,000
選挙費用積立金	100,000	100,000
基本基金積立金	0	0
予備費	0	454,500
次年度繰越金	897,049	0
合計	6,454,202	6,242,000

1) 7,000×503名(納入金不足者5名計14,000円含む)
2) 4,000×231名
3) 30,000×1口(日本経営協会総合研究所)
4) 経常的交流委員会活動における収入

〈別途会計〉

1.資産の部(基本基金)

2007年度繰越金	500,000
2008年度積立金	0
合計	500,000

2.積立金

(1)会員名簿作成費積立金

2007年度繰越金	204,836
2008年度積立金	100,000
合計	304,836

(2)選挙費用積立金

2007年度繰越金	200,000
2008年度積立金	100,000
合計	300,000

監査の結果、収支処理が適切であると認めます。

平成 21年11月5日　監事 繁多 進

平成 21年11月9日　監事 手島茂樹　印

日本パーソナリティ心理学会2009年度予算案

（自2009年4月1日・至2010年3月31日）

収　入　の　部				支　出　の　部		
費　目	2009予算額		2008予算額	費　目	2009予算額	2008予算額
学　会　費	4,547,000		4,392,000	大会補助費（第18回大会）	400,000	400,000
一般会員(@7,000)	3,227,000	1)	3,164,000	機関誌作成・印刷費（科研費90万円を含む）	2,500,000	2,500,000
院生・学生会員(@4,000)	940,000	2)	848,000	機関誌郵送費	250,000	250,000
過年度等	300,000		300,000	機関誌編集委員会活動費	600,000	600,000
前納	50,000		50,000	経常的研究交流委員会活動費	350,000	300,000
賛助会員(@30,000)	30,000	3)	30,000	国際交流委員会活動費	50,000	100,000
				大会活性化委員会活動費	30,000	30,000
				広報委員会活動費	50,000	270,000
機関誌売上	700,000		700,000	各種委員会特別活動費	300,000	ー
公開講座参加費など	20,000		20,000	事務局運営費	150,000	100,000
雑収入（著作権使用料、利子など）	30,000		30,000	交通費	450,000	350,000
前年度繰越金	897,049		600,000	通信費(国際文献印刷社分)	100,000	100,000
基本基金取崩金	0		500,000	事務委託費（国際文献印刷社分）	550,000	550,000
選挙費用取崩	200000		ー	日本心理学諸学会連合会費	37,500	37,500
平成21年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費	900000		ー	会員名簿作成費積立金	100,000	100,000
				選挙費用積立金	0	100,000
				基本基金積立金	100,000	0
				選挙費用	200,000	0
				予　備　費	1,076,549	454,500
				次年度繰越金	0	0
合　　計	7,294,049		6,242,000	合　　計	7,294,049	6,242,000

1) 7,000×461名(546名×85%)
2) 4,000×235名(277名×85%)
3) 30,000×1口(1社)

<別途会計>

1. 資産の部（基本基金）

2008年度繰越金	500,000
2009年度積立金	100,000
合　計	600,000

2. 積立金

(1)会員名簿作成費積立金

2008年度繰越金	304,863
2009年度積立金	100,000
合　計	404,863

(2)選挙費用積立金

2008年度繰越金	300,000
2009年度取崩金	-200,000
合　計	100,000